

期間中無休

やまがたでつながる
ボードレスアート2020
きざしとまなざし

山形・福島・新潟

障がい者芸術交流展

山形県障がい者芸術作品公募展

2020.10.金一～火

10:00～16:00

悠創の丘「悠創館」

展示室・研修室

入場料無料

やまがたでつながるボードレスアート2020

きざしとまなざし

山形・福島・新潟 障がい者芸術交流展

やまがた障がい者芸術作品公募展



障がいのある人たちをとりまく環境には、表現の「きざし」があり、その表現に寄りそう「まなざし」があります。

障がいのある人たちの表現は、このような相互の関係性でかたちづくられているともいえます。

この公募展をきっかけに、障がいのある人たちの表現(=「きざし」)が、それを鑑賞するみなさんの「まなざし」、

そしてその先に開かれた社会の「まなざし」へと広がっていく機会になればと思います。

表現の「きざし」と、それに寄りそう「まなざし」を是非ご体験ください。



鶴岡アートフォーラムでの巡回展風景(左上:大泉真帆、左下:佐藤理恵子)



ワークショップイメージ

【開催概要】

会場：悠創館（山形市大字上桜田366）展示室1、2、研修室

会期：2020年11月6日（金）—17日（火）10:00～16:00 [入場無料]

主催：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら／社会福祉法人愛泉会
ぎゃらりーら・ら・ら

共催：山形県

【山形・福島・新潟 障がい者芸術交流展】

山形、福島、新潟の障害のある人の芸術文化活動普及支援事業の紹介と事業にかかわる各県の作品を展示します。

●交流展 出展作家とプロジェクト

山形：柏倉佑哉、煤賀由香×近藤柚子、松井正行／きざしとまなざし／やまがたアートサポートセンターら・ら・ら

新潟：泉寛一、荻野雅人、馬場悠斗／ものと語りオンライン発表会／新潟県アール・ブリュット・サポート・センターNASC

福島：深谷美加子、芳賀善喜、KO☆（こうせい）／きになるひょうげん／はじまりの美術館

【やまがた障がい者芸術作品公募展】

山形県出身または在住の障がいのある方から公募した作品169点を展示します。そのうち、きざしとまなざし賞1点、山形県知事賞1点、審査員賞4点、入選20点を選出しました。

●受賞作品

きざしとまなざし賞：「季節」大泉真帆／山形県知事賞：「刺しゅう」佐藤理恵子／岡部信幸（審査員）賞：「羽黒山」阿部勝康／瀬尾夏美（審査員）賞：「自画像」椿ジュン／halkenLLP（審査員）賞：「東京タワー」平祐哉／吉田勝信（審査員）賞：「無題」山口智椰



●審査員：瀬尾夏美（アーティスト）

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。陸前高田市（岩手県）を拠点とした制作を経て、2015年仙台市で、土地との協働を通じた記録活動を行う一般社団法人NOOKを立ち上げる。著書に『あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる』（晶文社）がある。



●審査員：halken LLP（クリエイティブデュオ）
山形出身の画家・スガノサカエ（1947—2016）のマネジメントをきっかけに結成された二人組チーム（アイハラケンジ [アートディレクター／東北芸術工科大学准教授]、三浦晴子 [キュレーター／フォトグラフィア]）。展覧会のキュレーションや構成・デザイン、アーティストブックの企画・制作・出版、アーティストマネジメントなど、幅広く活動を展開している。



●審査員：岡部信幸（山形美術館副館長兼学芸課長）
山形美術館副館長兼学芸課長。1963年生まれ。1993年より山形美術館勤務。山形ゆかりの作家、モダニズム絵画や写真の展覧会を企画。東北芸術工科大学、山形大学非常勤講師。



●審査員：吉田勝信（グラフィックデザイナー）
1987年東京都新宿区生まれ。幼少期は奄美大島で育つ。2006年東北芸術工科大学美術史・文化財保存修復学科に入学、在学中より市場ではじかれる野菜を流通させる八百屋を企画運営、その延長で飲食店を開店し、中退。現在は山形県を拠点にデザイン業を営む。家業である染織工房をはじめ、様々な領域でコンセプトメイキングとそのビジュアライズを行なっている。

【関連イベント—おめでとう&相談day—】 ※要予約

審査員が展示室に滞在し、入賞者には個別に賞状をお渡しします。作品についてのコメントを聞いたり、活動について相談したいことなどありましたら、この機会にお話してみませんか？

11月6日（金）10:00～12:00 アイハラケンジさん（halkenLLP）

11月6日（金）13:00～15:00 吉田勝信さん

11月7日（土）10:00～12:00 岡部信幸さん

11月7日（土）13:00～15:00 三浦晴子さん（halkenLLP）

11月10日（火）13:00～15:00 瀬尾夏美さん

※参加のお申込みは、ぎゃらりーら・ら・らまで電話、メールでご予約ください。

【ワークショップ—キラキラ!きざしスポットを見つけよう—】 ※要予約

秋の悠創の丘公園を散歩して、なんだか気になる場所、「きざしスポッ

ト」を探して、キラキラの飾りつけをしてみよう。かざりつけをすることで一人ひとりの「気になる!」を見つめよう。

日時：2020年11月8日（日）10:00～11:30／14:00～15:30（午前と午後の2回開催）

会場：悠創館、悠創の丘

対象：小学生以上であればどなたでも（お子さんの場合は保護者同伴）

定員：各回 5組／参加費無料

ファシリテータ：イシザワ エリ（アートワークショッププランナー）

ファシリテータプロフィール：山形県中山町出身。身近な素材を使って、子どもも大人も気軽に参加できるアートワークショップの企画を行っています。活動を通して「当たり前」が変わるオドロキ・知らなかった世界に出会えるワクワクを多くの人に感じてもらいたいと考えています。※参加のお申込みは、ぎゃらりーら・ら・らまで電話、メールでご予約ください。

【関連企画「やまがたのきざしとまなざし2020」】

本展覧会に合わせ、山形県内の6名の作家と寄り添う支援者取材し、障がいのある人たちの表現(=「きざし」)と、それに寄りそう「まなざし」に焦点をあてた関連企画展示をおこないます。

会期：2020年11月6日（金）～12月20日（日）10:00～17:00

会場：社会福祉法人愛泉会 ぎゃらりーら・ら・ら（山形県山形市諏訪町3-2-7）

【公募展入賞作品+「やまがたのきざしとまなざし2020」巡回展】

鶴岡アートフォーラム（鶴岡市馬場町13-3）：2020年10月2日～11日（終了しました）

米沢市民ギャラリー ナセBA（米沢市中央1-10-6）：2021年1月10日～17日

【やまがたアートサポートセンターら・ら・ら／ぎゃらりーら・ららについて】

社会福祉法人愛泉会では、2011年に障がいのある人の作品を発信する場「ぎゃらりーら・ら・ら」を開設し、2016年から山形県の事業として「やまがた障がい者芸術活動推進センター」、2020年からは「やまがたアートサポートセンターら・ら・ら」として、山形県内の障がいのある人の芸術文化活動の普及支援に取り組んでいます。「相談支援」「人材育成」「ネットワークづくり」「発表機会の創出」「調査発掘・発信」を実施し、活動を通して、新たな価値創造の発信を続け、互いを尊重し理解しあえる包容力のある地域社会創造を目的として活動しています。

【お問い合わせ先、関連イベント・ワークショップお申し込み先】

やまがたアートサポートセンターら・ら・ら

社会福祉法人愛泉会 ぎゃらりーら・ら・ら

〒990-0033 山形県山形市諏訪町1-2-7

TEL: 023-674-8628 FAX: 023-674-8629

E-mail: g.lalala@silver.ocn.ne.jp

【新型コロナウイルスへの対策について】

入場にあたりましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、次のことにご留意いただきますようお願いいたします。

- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・会場の入口に消毒液をご用意しますのでご利用ください。
- ・密集の状態を作らないため、入場制限をさせていただく場合がございます。
- ・37.5度以上の発熱がある方は入場をお控えください。
- ・感染者が発生した場合の対策として、連絡先の記入にご協力をお願い申し上げます。（お預かりした個人情報は厳重に管理を行い、本目的以外では使用いたしません）

【悠創の丘「悠創館」へのアクセス】

電車：JR「山形駅」から山交バス「芸術工科大学前」行きで終点下車、徒歩10分。

自家用車：山形自動車道山形蔵王I.C.から約12分。東北中央自動車道山形上山I.C.から約13分。

